

第19課 原因・理由(3) 素朴な疑問

原因・理由(3) 素朴な疑問



小学1年の息子はよく素朴な疑問で私を悩ませる。幼稚園のころは適当にうまく話して納得させていたのだが、これくらいの年になると、適当に話してごまかすわけにもいかない。先日もいい加減に答えたばかりに、子供には「本当はわからないんじゃないの」と言われるし、妻からは「子供の教育にもっと関心を持ってよ」と怒られるし、ひどい目にあってしまった。しかし、中には答えようがない疑問というものもある。

ある日、ラジオで子供が電話で質問してゲストがそれに答えるという番組をやっていた。小学2年生の質問は「あしたはどこにあるのですか」だった。こういう質問は大人がすることはできない。子供だからこそするのだ。ゲストの人がどう答えるのかと楽しみにしていたら、案の定、困っているようだった。しばらくして、一人のゲストが科学的、哲学的な内容をできるだけやさしく小学生にもわかるように話しはじめた。難しい内容をやさしく説明するのはさぞ大変なことだろうと、感心しながら聞いていた。

次にもう一人のゲストは、逆に小学生に「どうしてそれが知りたいのかな」と質問をした。どうしてそんな疑問を持つのかを一緒に考えてあげたほうがいいと考えたのだろう。この子供はもしかしたら「早くあしたにならないかな」とか「あしたにならないでほしい」と考えているのかもしれないからだ。こういう答え方もあるのかと感心した。

自分の息子が「なぜ生きなければいけないの？」などと聞いてきたら上手に答えてあげられるだろうか。答えるからにはこちらでも考えることが必要だ。普段、仕事のことで頭がいっぱいのお父さんたちもたまには素朴な疑問について考えるゆとりが欲しいものである。

小学1年 素朴
疑問 適当に
うまく 納得 年
ごまかす
いい加減
関心

ゲスト

科学的 哲学的
小学生
さぞ 感心

逆に

普段
ゆとり

第19課 原因・理由(3) 素朴な疑問

■ 本文設問

- (1) 筆者はなぜ先日ひどい目にありましたか。
- (2) ゲストはなぜ子供の質問を聞いて困ったのでしょうか。
- (3) 筆者は二人目のゲストの答え方のどんなところに感心したのですか。
- ◇ 筆者は二人のゲストのうち、どちらの方の答え方により強く感心したと思いますか。どちらにも同じくらい感心したと思いますか。なぜそう思いますか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	疑問	年[=年齢]	関心	ゲスト	小学(校)～年(生)	小学生
な形容詞	素朴	科学的	哲学的			
名詞／動詞Ⅲ	納得(する)	感心(する)				
動詞	ごまかす					
副詞	適当に	うまく	いい加減に	★さぞ	逆に	普段

[基本動詞の用法]

・(関心、疑問を)持つ

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 関心 感心 納得 うまく 普段 本当に* 本当は* 逆に 】 * 印は既習

- (1) ()あなたが一人でしたんですか。()だれかが手伝ったんでしょう。
- (2) 私が質問したのに、()相手にいろいろ質問されてしまった。
- (3) 最近は環境問題について()が高まっている。
- (4) そんないい加減な説明では()できません。
- (5) あんな小さい子供が一生懸命お母さんを手伝っているのを見て()した。
- (6) ()はとてもおとなしい人が急に怒り出すと、びっくりする。
- (7) 話しにくいことだけど、先生には私から()話しておきます。

第19課 原因・理由(3) 素朴な疑問

■ 文型・表現

「原因・理由」の文型・表現(3)

(1) ～からこそ・・・(のだ) (※『こそ』を使って理由を強調する)

1) 普通の使い方

1. 私も同じ経験をしたからこそ、こうやってあなたにアドバイスできるのです。
2. あなただからこそ、こんな恥ずかしいことでも相談するのです。
3. 彼女は私にとって本当にいいライバルだった。彼女がいたからこそ、私はここまで頑張ることができたのだ。

2) <逆説>の使い方

1. 暑いからこそ、熱いものを飲むのです。そのほうが後で涼しくなります。
2. 何も知らないからこそうまくいくということもある。考えすぎるといい結果が出ない。
3. つらいからこそ、笑顔を作るのです。そうすれば明るくなれるものです。

(2) ～ばかりに (※『ばかり』を使って、それだけの理由で悪い結果になったという気持ちを表す)

1. あの人に話したばかりに、あっという間にクラス中に広まってしまった。
2. あまり考えずに気軽に引き受けたばかりに、あとで大変な目にあってしまった。
3. 宝くじに当たったばかりに、人生が狂ってしまった。

(3) ～からには・・・ (※～なら当然・・・)

(※決まったことについて、どうする／考えるのが当然か述べる)

1) 義務・必要(「～なければならない」「～ないわけにはいかない」が続く)

→ ★その他の文型(2)

1. 一度約束したからには、それを守らなければならない。
2. みんなの前で行くと言ったからには、行かないわけにはいかない。
注) 不必要(「～なくてもいい」「必要ない」)の文型もある。
3. 私が来たからには、もう心配は要りません。すべて任せてください。

2) 希望・意志(「～たい」「～(よ)うと思う」「～つもりだ」が続く)

1. 参加するからには、ぜひ優勝したい。
2. 日本に来たからには、日本語だけでなく、日本の文化や習慣も学ぶつもりだ。

アドバイス(する) ライバル あっという間に クラス中 気軽に 引き受けるⅡ
くる 任せるⅡ

第19課 原因・理由(3) 素朴な疑問

3) 命令・アドバイス・禁止(命令形、「～ほうがいい」「～てはいけない」が続く)

1. やるからには頑張れ／しっかりやれ。
2. 海外で仕事をするからには、その国の習慣を前もって調べておいたほうがいい。
3. 一度決めたからには、途中であきらめてはいけない。

その他の文型・表現

(1) <動詞(ます)形>+ようがない (※それをする手段・方法がないからできない)

→ ★L10本文「しょうがない」「どうしようもない」

注) <意志形>とは違う。

1. 内容が決まらなければ、書きようがない。(×書こう)
2. どこに落としたのか分からなければ、探しようがない。(×探そう)
3. 専門用語を全く知らない相手には説明のしようがない。

(2) ～わけにはいかない

(※「～ことができない」と大体同じ意味だが、^{どうとくても}道徳的、心理的な理由が強い)

(※それをしてでもいいのだが、気持ちの上でそれはできないというニュアンスが強い)

1. ちょっと熱があっても、会社を休むわけにはいかない。大事な仕事があるのだ。
2. これはだれにも話さないと約束したので、ほかの人に話すわけにはいきません。
3. これは私にとって大切なものだから、お売りするわけにはいきません。

注)「～ないわけにはいかない」のように否定が2つある場合もある。

(※「～なければならない」と大体同じ意味だが、やはり心理的な理由が強い)

4. 絶対に行く約束したから、行かないわけにはいかない。
5. この試験に合格しないと退学になるから、勉強しないわけにはいかない。

(3) さぞ・・・(こと)だろう

(※ただ「～だろう」と言うより「相手の状況や立場がよくわかる」という気持ちが入る)

1. 「よくいらっしやいました。長旅でさぞお疲れでしょう」
2. 息子さんを交通事故で亡くして、さぞ悲しいことでしょう。
3. しばらく会っていないが、2年も日本にいるからさぞ日本語が上手になったことだろう。

第19課 原因・理由(3) 素朴な疑問

■ 文型・表現練習

(1) ～からこそ

1. 山田さんに手伝ってもらったからこそ、こんなに_____。
2. 一人の力で優勝できたのではない。_____からこそ、優勝できたのだ。
3. 自分のことは自分がよく知っているというのも正しいかもしれないが、自分のことだからこそ_____ということもある。
4. A「こんなに暑い時に、どうしてそんなに辛いものを食べるんですか」
B「_____」

(2) ～ばかりに

1. 学歴がなかったばかりに_____。
2. 「_____」と自慢したばかりに大変な仕事をするようになった。
3. _____ばかりに、ひどい目にあってしまった。

(3) ～からには

1. 親から離れて一人暮らしをするからには_____。
2. A「オリンピック出場おめでとうございます」
B「ありがとうございます。出場するからには_____」
3. 試験を受けるからには_____。
あとで後悔したくないからだ。

(4) ～わけにはいかない

1. きょうは車で来たから、お酒を_____。
2. 給料日前でお金がなくて困っている。しかし、もう社会人なのだから親に_____。

第19課 原因・理由(3) 素朴な疑問

3. 上司には旅行に行くと言って休みをとったから、何かお土産を_____。
_____。

(5) さぞ・・・(こと)だろう

1. 日本に親せきや知り合いが一人もないのなら、さぞ_____。
2. A「きのうのパーティーはどうでしたか」
B「200人くらい来ていましたよ」
A「そんなに来ていたのなら、さぞ_____」

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『私の決意』:「(日本に来た)からには」を使って、これからのあなたの決意を書きましょう。
- ・ 『私の疑問』:あなたが普段疑問に思っていることを教えてください。

第19課 原因・理由(3) 素朴な疑問

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 教育に関する単語

1. 学校と学年

・ 幼稚園	: ○○組	: <u>園児</u>
・ 小学校	: 小学1年(生)	: <u>児童</u> 、小学生
・ 中学校	: 中学1年(生)	: <u>生徒</u> 、中学生
・ 高校(高等学校)	: 高校1年(生)	: <u>生徒</u> 、 <u>高校生</u>
・ 大学	: 大学1年(生) / 1回生	: 学生、 <u>大学生</u>
・ 大学院	: <u>修士課程</u> 、 <u>博士課程</u>	: 学生、 <u>大学院生</u>
・ 専門学校	: 1年(生)	: 学生、専門学校生

2. 教科・科目

小学校～高校

- ・ 国語、理科、算数、社会、音楽、美術、体育
- ・ 英語、物理、化学、生物、数学、歴史、地理

注)「化学」は「科学」と読み方が同じなので、区別するために(会話では)「ばけがく」と言うことがある。

大学(※代表的なもの。上の科目以外)

- (文系)・哲学、文学、心理学、教育学、法律学／法学、経済学、経営学、外国語
- (理系)・医学、歯学、工学、土木(工学)、機械(工学)、電気・電子(工学)

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答 1 2 3 4